

8 山口県の林業

森林とわたし

森林には、地球が暖かくなりすぎないようにするちからがあります。



森林にいくと、とても気持ちが安らぎます。

地下水

たくわえられた雨水は、栄養をもらい、ゆっくりと川を通り、海に出ます。

魚たちは栄養あふれる海の水に育てられたプランクトンや海そうをえさにしています。

(1) 山口県の森林



双津峡溪谷 (岩国市)

山口県は、豊かな森林にめぐまれています。森林のはたらきを知り、森林しげんがどのように生かされているか調べてみましょう。



山口県の森林は、どのくらいの広さがあるのかしら。

森林組合のおじさんの話

山口県の森林の広さは、県全体の72%もあります。竹林も広く、全国第3位となっています。



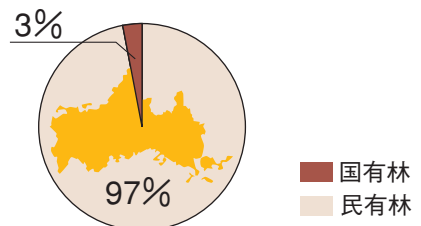
また、国が管理する国有林にくらべ民有林が97%と高いのもとくちょうです。

種類別でみると、間ばつの必要なスギやヒノキなど人工林の割合が少しずつふえてきています。

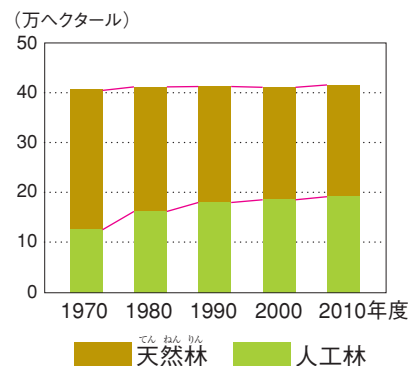
森林の広さ

区分	山口県	全国
森林の広さ	約44万ヘクタール	約2500万ヘクタール

山口県の国有林と民有林

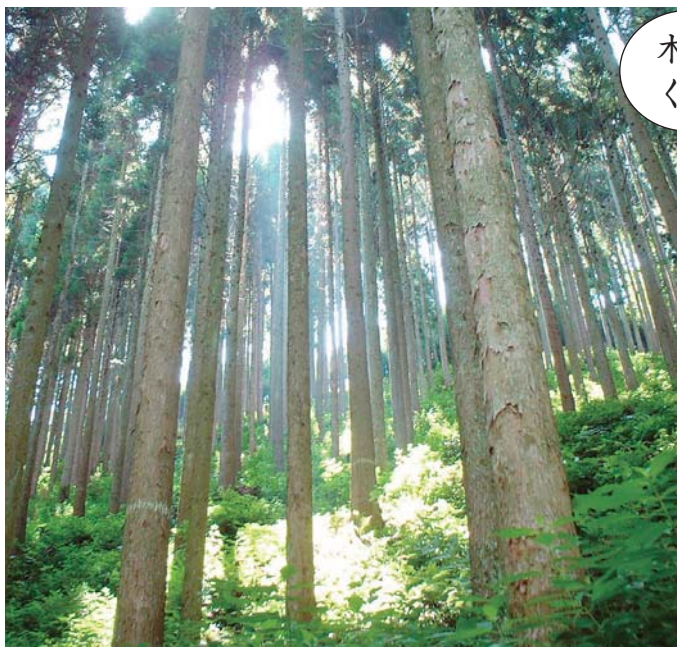


種類別森林の広さ



(3つの資料はいずれも平成23年 山口県調べ)

(2) 森林を^{まも}り、^{そだ}てるとりくみ



間ばつ後の健全な森林

木を育てるしごとには、どんなくふうやくろうがあるのかしら。



森林ではたらくおじさんの話

なえ木をうえて、およそ10年間
は下がり作業をします。また、15
年くらいたつと木のせい長がわるく
なるので、日光があたるように間ば
つという木をまびく作業をします。

よい木材にするには40～
50年の長い間、根気よく森
林の手入れをつづけるひつ
ようがあります。



木を切る



はこび出す



木をあつめて出荷する

森林組合の人は、
どんなしごとを
しているのだろう。

森林組合のおじさんの話

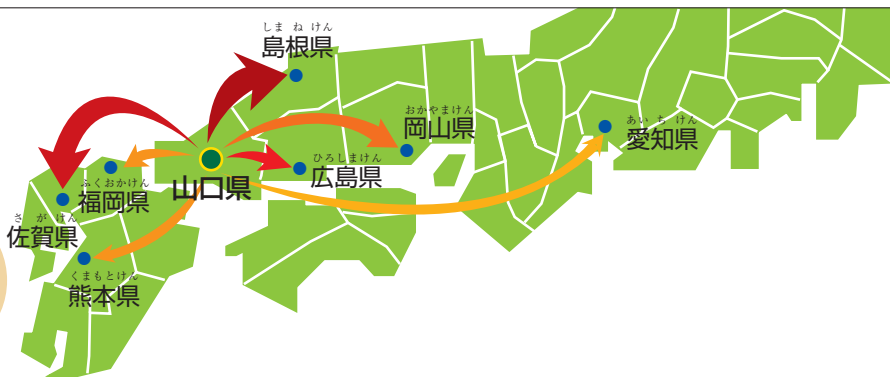
私たちは、正しい木の育て方を教えたり、
しごとがあつて世話ができない人に替わつて、
きちんと森林の世話をしたりしています。



木材の出荷先

スギ・ヒノキ・マツなど

切り出された木は、
どこに送られて
いるのでしょうか。



(3) 未来へつなぐ、豊かな森林づくり

豊かな森林をみんなで育て、未来に伝えていくために、森林の役わりを知り、自然や環境を守る活動についてさらに調べましょう。そして自分たちにもできることを考えてまとめてみましょう。

森林とわたしたちのくらしのページも
さんこうになりそうだよ。



知る



森林教室



学校林の活用

使う



県内産木材を使った教室



木を使った遊具



道の駅の地産コーナー

参加する



緑の少年隊



竹のばっさい

さと やまびと
里山人ネットワーク代表の
その だ
園田さんの話



森林とふれあい、さまざま
なことを体験してもらうため、
森の駅「小さな森」をつくり
ました。

ここでは、森林の手入れやキノコがり、炭
焼き、間ばつ材を利用したイスやテーブルづ
くりなどの活動を自由に行うことができます。
また、専門家をよんで、子どもたちが楽しめ
る森林体験活動も行っています。

わたしが子どものころは、すぐ近くの里山
から、遊び方や人とのかかわり方など、たく
さんのことを学ぶことができました。

みなさんにも、里山のよさを知り、体験を
通して、人は自然によって育まれていること
を感じ取ってもらいたいとねがっています。

ぼくも参加した
ことがあるよ。



竹に親しむ～竹楽器の演奏



木に親しむ～丸太切り大会



森林に親しむ～どんぐり教室

未来へ

山口県では、間ばつ材
や竹材などを新しいエネ
ルギーとして使いはじめました。

この取り組みは、地球温暖化を防止
することにもつながり、これからの広
がり期待されています。

木材がエネルギーにかわるまで

ばっさい



ペレット化



ボイラーやストーブなどで燃やして
熱エネルギーにかえる



ペレットストーブって
あたたかそうね。



ペレットストーブと
ペレット